

# 2022年度版

# 環境経営レポート



対象期間:2022年5月1日~2023年4月30日

2023年6月26日 発行



株式会社 広田製作所  
Hirota Seisakusho Limited



®環境省  
エコアクション21  
認証番号 0000272

# ～ 目 次 ～

表紙	P1
目次	P2
1 組織の概要及び対象範囲 (1)事業所名・所在地・連絡先 (2)環境保全関係の責任者 (3)事業内容及び認証登録範囲 (4)事業規模 (5)環境保全関連業務の役割	P3
2 環境経営方針	P4
3 環境経営目標	P5
4 環境経営目標の実績	P6
5 環境活動計画の取組結果とその評価及び 継続取組と課題取組の内容	P9
6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P11
7 代表者による全体評価と見直しの記録・指示 結果	P12
8 その他の取り組み・活動	P13

# 1 ～組織の概要及び対象範囲～

## (1)事業所名・所在地・連絡先

事業所名  **株式会社 広田製作所**

所在地/連絡先 〒382-0005 長野県須坂市大字小河原3954-13

TEL 026-245-1212(代)/026-248-0800(代)

FAX 026-248-2947 / 026-246-1474

お問い合わせ [株式会社広田製作所\( https://www.hirotass.co.jp\)](https://www.hirotass.co.jp)

## (2)環境保全関係の責任者

- ・最高責任者 代表取締役社長 広田 文雄
- ・環境管理責任者 執行役員品質保証部長 酒井 直樹

## (3)事業内容及び認証登録範囲

電子デバイス、ハードディスク試験装置、各種電子機器、メカトロニクス機器の設計及び製造、技術者派遣業

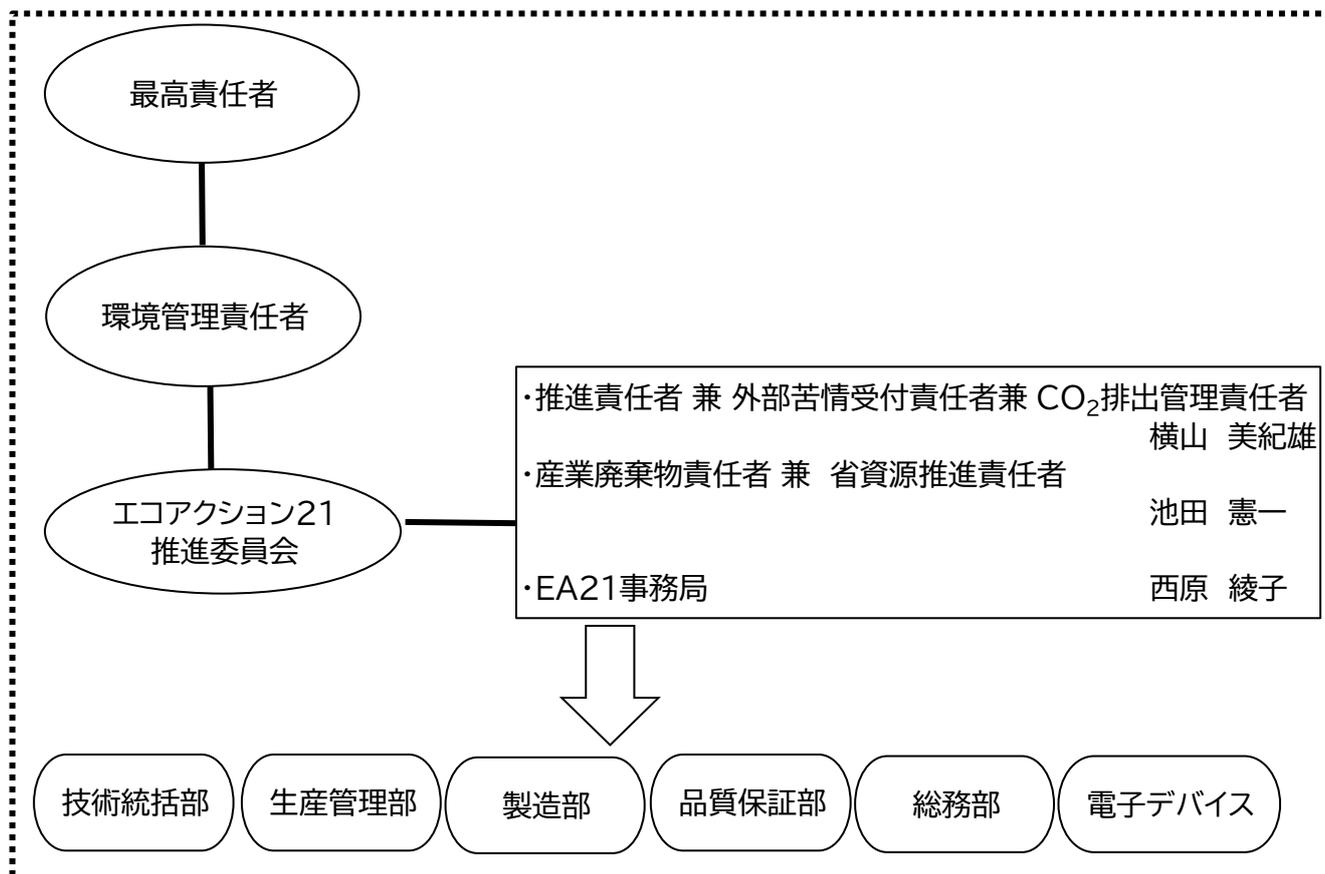
## (4)事業規模

工場	売上額 (2022年度)	従業員数	対象組織	延床面積
		～2023.4.30		
工場棟	20億3千6百万円	57名	56名	1,869㎡
技術棟		32名	29名	277㎡
実験棟				113㎡
顧客先		35名	0名	-
全体		124名	85名	2,259㎡

注)非対象従業員は顧客先の職場で就業

## (5)環境保全関連業務の役割の明確化(2022年度)

以下にエコアクション21推進委員会組織を設置し、環境関連活動を計画・推進する。



## 2 ～ 環境経営方針 ～

# 環境経営方針

### 理 念

㈱広田製作所は、情報機器の提供メーカーとして、社会の持続可能な発展に向けた環境への取り組みが経営上の重要課題と認識し、信州の豊かな自然を次の世代に残すことを目指して、全ての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求して行きます。

### 基本方針

#### 1. 環境問題への取り組み

企業活動のあらゆる面で、環境との調和を図っていくため、社内の全部門はもとより、広く関係先と協力して、環境保全に配慮した商品や技術の開発を推進します。

また、社員一人ひとりが生物多様性保全を始めとした環境保全活動に貢献するよう啓発を行い、生物に与える影響を最小限に抑えます。

#### 2. 企業責任の遂行

設計・開発から、生産、販売、製品搬送等の全ての段階において、環境汚染の未然防止に努め、省資源・省エネルギー型の製品設計を行い、環境への負荷低減に取り組みます。また、企業活動に伴う環境負荷を把握し削減する為に、下記項目について環境目標等を定めて取り組みます。

- ・ 環境に配慮した製品を設計・製造する
- ・ グリーン購入の推進
- ・ 二酸化炭素排出量の削減（購入電力・ガソリン・灯油使用量の削減）
- ・ 廃棄物処分量の削減
- ・ 水資源利用量の削減

#### 3. 関連法令の遵守

事業活動に適用される環境法、自主基準及び当社が同意するその他の要求書を遵守します。

#### 4. 環境マネジメントシステムの継続的改善

環境マネジメントシステムを継続的に改善するとともに、汚染を予防します。

2018年7月5日

株式会社広田製作所

代表取締役社長

広田文雄

### 3 ～ 環境経営目標 ～

#### 1. 製品・サービスに関する環境目標

目標： 環境に配慮した製品を設計・製造する

#### 2. グリーン購入の推進

目標： 環境に配慮された部品、事務用品を積極的に購入する

#### 3. 二酸化炭素排出量削減(エネルギー消費量削減)

- ① 電気使用量目標： 前年度年間実績値より年率0.1%以上削減を目標とする
- ② ガソリン・軽油目標： 前年度年間合計実績値より年率0.1%以上削減を目標とする
- ③ 灯油・ガス目標： 前年度年間合計実績値より年率0.1%以上削減を目標とする

《会社目標》		22年度(前年)	23年度	24年度	25年度
項目	単位	実績	目標		
電気使用量	kg-CO <sub>2</sub>	46,831	46,784	46,738	46,691
ガソリン	kg-CO <sub>2</sub>	4,977	4,972	4,967	4,962
軽油	kg-CO <sub>2</sub>	2,229	2,227	2,224	2,222
灯油	kg-CO <sub>2</sub>	8,317	8,308	8,300	8,292
ガス	kg-CO <sub>2</sub>	1,693	1,692	1,690	1,688
CO2排出量総合計	kg-CO <sub>2</sub>	64,047	63,983	63,919	63,855

(電気使用量:調整後排出係数/0.388 2021年度中部電力ミライズ実績より引用)

《エネルギー使用量目標》		22年度(前年)	23年度	24年度	25年度
項目	単位	実績	目標		
電気使用量	kWh	120,699	120,578	120,458	120,337
ガソリン	ℓ	2,145	2,143	2,141	2,139
軽油	ℓ	864	863	862	861
灯油	ℓ	3,340	3,337	3,333	3,330
ガス使用量	m <sup>3</sup>	784	783.2	782.4	781.6

#### 4. 産業廃棄物処分量の削減

- ① 目標： 廃棄プラスチック類 前年度年間実績より年率0.1%以上削減を目標とする
- ② 目標： 可燃ごみ 前年度年間実績より年率0.1%以上削減を目標とする

《会社目標》		22年度(前年)	23年度	24年度	25年度
項目	単位	実績	目標		
廃棄プラスチック	kg	1,550	1,548	1,547	1,545
可燃ごみ	kg	2,210	2,208	2,206	2,203

#### 5. 水資源利用量の削減

- ① 目標： 前年度年間実績より年率0.1%以上削減を目標とする

《会社目標》		22年度(前年)	23年度	24年度	25年度
項目	単位	実績	目標		
水資源利用量	m <sup>3</sup>	323	322.7	322.4	322.0

## 4 ～環境経営目標の実績～

### 資源使用量ならびに廃棄物排出量

～CO<sub>2</sub>排出量～

エネルギー使用量 実績		21年度 実績	22年度	22年度	目標比 (増減率)
項目	単位	基準値	目標値	実績値	増減率
電気使用量	kg-CO <sub>2</sub>	48,565	48,516	46,831	-3.5%
ガソリン	kg-CO <sub>2</sub>	6,064	6,058	4,977	-17.8%
軽油	kg-CO <sub>2</sub>	2,263	2,260	2,229	-1.4%
灯油	kg-CO <sub>2</sub>	12,662	12,649	8,317	-34.3%
都市ガス	kg-CO <sub>2</sub>	1,933	1,931	1,693	-12.3%
CO <sub>2</sub> 排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	71,487	71,414	64,048	-10.3%

(電気使用量:調整後排出係数/0.388 2021年度中部電力ミライズ実績より引用)

エネルギー消費量 実績		21年度 実績	22年度	22年度	
項目	単位	基準値	目標値	実績値	
電気使用量	kWh	125,167	125,042	120,699	※注1
ガソリン	ℓ	2,614	2,611	2,145	
軽油	ℓ	877	876	864	
灯油	ℓ	5,085	5,080	3,340	
都市ガス	m <sup>3</sup>	895.0	894.1	784	

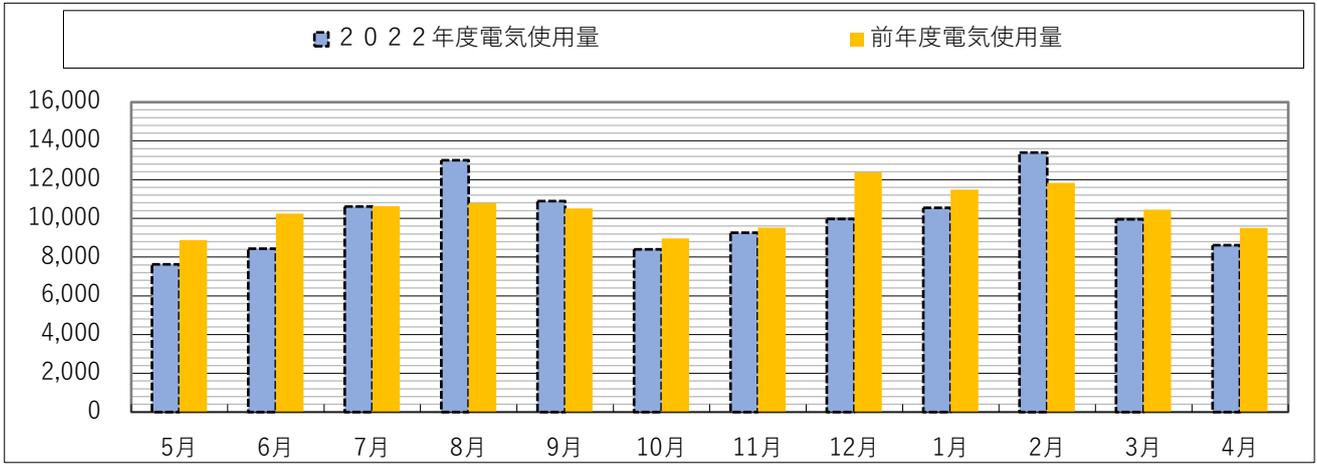
※注1)電気使用量には、太陽光発電使用量は含まれておりません。

産業廃棄物等排出量 実績		21年度 実績	22年度	22年度	目標比 (増減率)
項目	単位	基準値	目標値	実績値	増減率
廃棄プラスチック	kg	1,000	999.0	1,550	55.2%
可燃ごみ	kg	830	829.0	2,210	166.6%
金属クズ	kg	-	-	-	*
ダンボール	kg	-	-	-	*
紙類	kg	-	-	-	*
廃棄物処分量合計	kg	1,830	1,828	3,760	

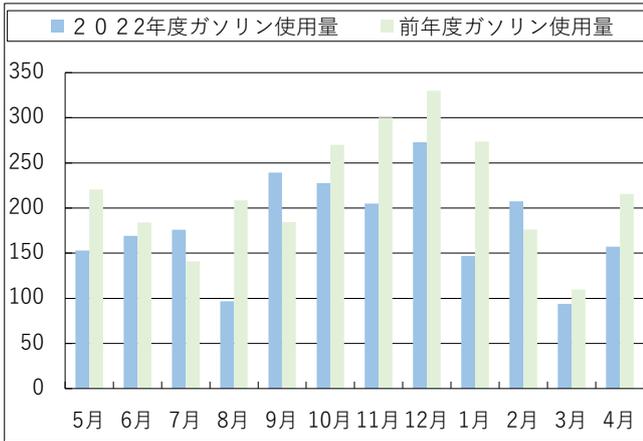
\*資源利用されています

水使用量 実績		21年度 実績	22年度	22年度	目標比 (増減率)
項目	単位	基準値	目標値	実績値	増減率
上下水道	m <sup>3</sup>	373	373	323	-13.3%

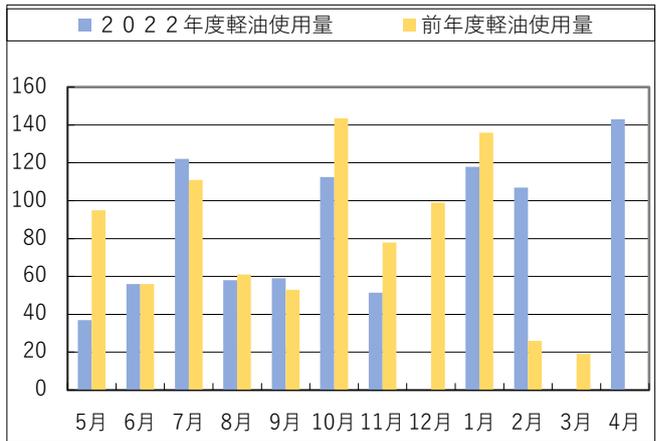
\*電気使用量 (kWh)



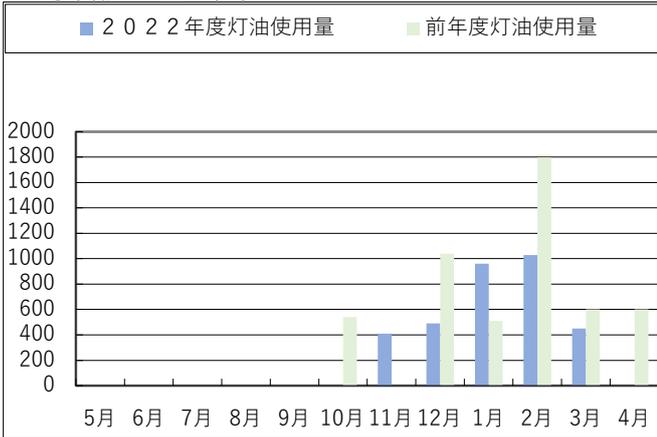
\*ガソリン使用量 (ℓ)



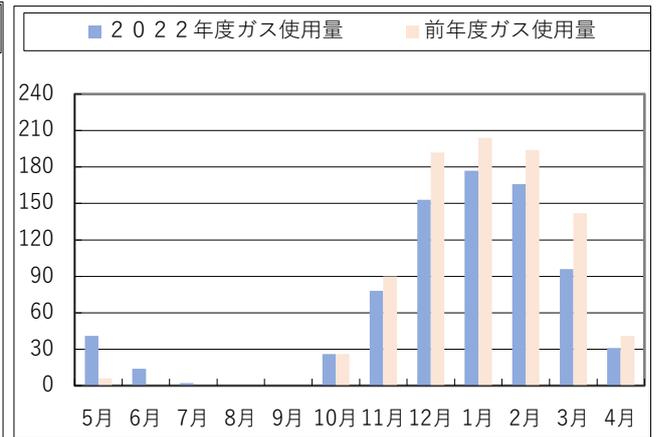
\*軽油使用量 (ℓ)



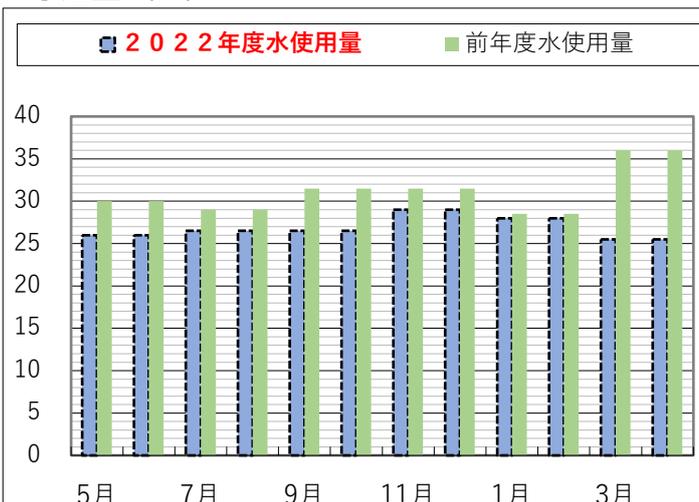
\*灯油使用量 (ℓ)



\*ガス使用量 (m³)

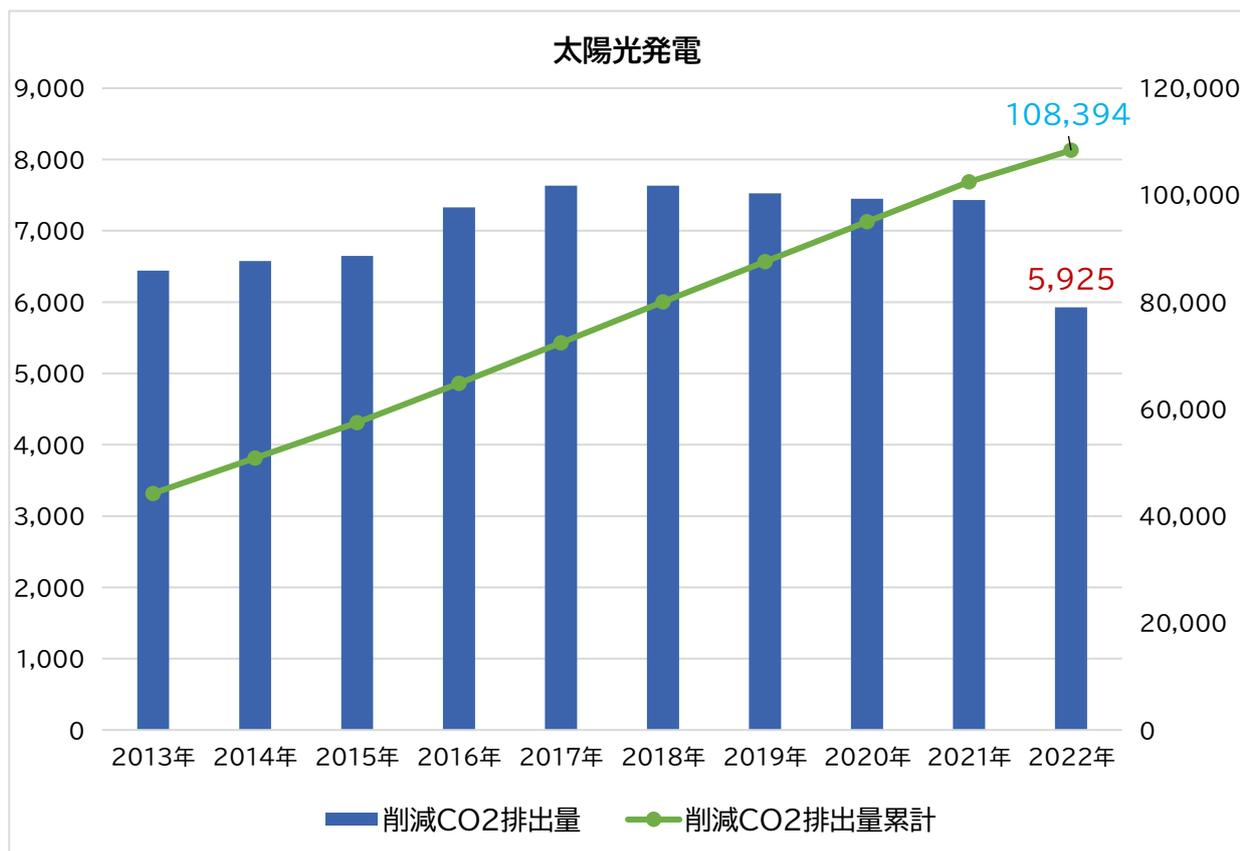


\*水道量 (m³)



## 【太陽光発電について】

当社では2007年12月より太陽光発電を導入しており、太陽の光エネルギーを電力に変えて使用し、温室効果ガス排出量の削減を実施しております。



2022年度の太陽光発電使用量は【15,315kWh】でした  
購入電力に換算すると【5,925kg-CO<sub>2</sub>】削減出来たこととなります

また、導入後総使用量累計(2007~2022)【223,042kWh】に対して  
総排出量累計は【108,394kg-CO<sub>2</sub>】削減出来たこととなります  
※今年度(2021) CO<sub>2</sub>換算値:/0.388 2021年度中部電力ミライズ実績より引用



5 ～環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容～

NO.	【重点活動項目】／施策	目標値	実績	目標比増減率	実績評価	コメント
1	【環境に配慮した製品の設計・製造】 (1)RoHS対応製品等の設計・製造 (2)エコ設計の推進	社内各部門が連携し、 常時情報共有を行ない 情報を有効に活用する こと	製品の設計・製造		◎	今後も対応製品を 製造していく。
2	【グリーン購入の推進】 (1)環境ラベル認定の事務用品、環境に 配慮された製品を購入 (2)環境活動を行っている企業から購入	常に第一条件で購入及 び調達を実施すること	環境に配慮された製 品の購入を優先的に 実施		◎	環境に配慮された 製品を積極的に購 入できている。今 後も維持していく。
3	【CO2排出量の削減】 「電力削減」 (1)温湿度計設定温度 夏27℃±1℃ (2)温湿度計設定温度 冬19℃±1℃ (3)不要電力の削減 ①必要箇所のみ点灯・空調等 ②必要時間のみ装置稼働(PC等を含む) ③電力デマンド監視システムによる監視 ④空調設備時間設定 ⑤工場内LED照明の設置 ⑥各事務所等のLED照明の設置 (4)クールビズの推進 (5)太陽熱の遮断 ① 会議室のカテ、断熱遮光ガラスフィルム 「燃料削減」 (1)社有車の燃費効率向上 ①エコカーの導入（現在9台中6台） ②構内停車時のアイドリングストップ ③省エネ運転の推進 ④効率よい出張計画 (2)灯油使用量の削減 ① 設定温度に達したら過剰暖房をしない (3)ガス使用量の削減 ①ガス使用時間短縮 ②ガス暖房の設定温度を過剰しない	電力:目標 48,516kg-CO <sub>2</sub>	46,831 kg-CO <sub>2</sub>	-3.5%	◎  ◎  ◎	・電気については 引き続き工場内設 置の温湿度計を確 認しつつ、全棟 LED化の効果も含 めて適切なコント ロールが出来てい る。 ・ガソリン、軽油に ついては、エコカー の積極的な活用 により大きく減少 した。2023年度は EVの導入により更 なる効果を期待し たい。 ・灯油、ガスは冬季 使用頻度が少なく 済んだ為、大きく減 少。職場作業環境 維持優先で対応は 行っていく。
		ガソリン:目標 6,057kg-CO <sub>2</sub>	4,977 kg-CO <sub>2</sub>	-17.8%		
		軽油:目標 2,260kg-CO <sub>2</sub>	2,229 kg-CO <sub>2</sub>	-1.4%		
		灯油:目標 10,734kg-CO <sub>2</sub>	8,317 kg-CO <sub>2</sub>	-34.3%		
		ガス:目標 1,763kg-CO <sub>2</sub>	1,693 kg-CO <sub>2</sub>	-12.3%		
4	【廃棄物排出量の削減】 (1) 廃プラスチック類の削減 ① 調達品・支給品包装の3R化の推進 (3R:リサイクル、リユース、リデュース) ② 通い箱等への変更 (リピート性の高いもの) (2)可燃ゴミの削減 ①分別方法・集積場所の整備 (廃棄サンプル、看板の強化) ②分別による再利用・資源化の徹底 金属クズ、ダンボール、紙類は再資源 として 搬出する	廃プラスチック:目標 目標:999kg以下	1,550kg	+55.2%	▲	・工場内のリニュー アル工事を年間通 して行っている。日 常行えない2Sを積 極的に行った事 により、廃棄物排出 量は増加した。
		可燃ゴミ:目標 829kg以下	2,210 kg	+166.6%		
5	【水使用量の削減】 (1)節水 ①手洗い時の洗面器利用の徹底 ②こまめに蛇口の開閉を行う。 ④ポスター掲示等の啓蒙活動	水資源:目標 372.6 m <sup>3</sup>	323 m <sup>3</sup>	-13.3%	◎	・一昨年全て節水型 トイレに入れ替えた 事の効果も出てい る。漏水等特殊増加 要因の発生も無かつ た。
6	【EA21を通じて環境への対応の啓蒙】 (1)EA21の理解を深める (2)産業廃棄物の削減および分別の徹底 (3)小集団改善活動への取組	1.新規入職者への教育 を行い理解を深める	新規、中途入職者 への教育実施	新規入職者 4名	◎	入職時、社内規定 等の説明過程にて 教育している。

## 【継続していく取組と今後の課題取組内容】

### 1.環境に配慮した製品の設計・製造

- ★受託開発品・自社製品の設計については、引き続き環境に配慮した省エネ設計、RoHS対応 REACH規制等に対応した開発を引き続き行う。
- ★社内各部門が連携し情報共有を行い、情報を有効に活用する。  
環境に配慮すると共に、顧客ニーズに沿った設計、開発を引き続き行う



### 2.グリーン購入の推進

- ☆継続して積極的に購入していく。
- ☆新規取引先の環境活動を確認し、グリーン購入を推進する。

### 3.CO<sub>2</sub>排出量の削減

- ・電力の使用量については、最大需要電力(デマンド値)監視システムにより最大需要電力を抑制し削減を図る活動を継続して行う。(最大需要電力/66kW)  
↳ 次年度から最大需要電力を見直す(60kw)
- ・冷暖房等は必要なエリアのみ、使用する。  
夏季は扇風機/冬季は灯油ストーブ・ガスヒーターを併用することで削減を推進する。  
エアコンは設定時間になると自動で切れるシステムを導入/就業15分前(19年度より)温湿度計を設置し、適度な温度コントロールを管理する。



- ・コンプレッサー等設備使用については、使用する時に電源を入れ、待機電力を削減する。
- ・燃料については、効率のよい出張計画、省エネ運転推進を継続し、低燃費車を積極的に導入する。
- ・灯油・ガスについては、暖房温度に到達したら過剰暖房を止め削減を図る。
- ・蛍光灯は工場すべてLED化に変更。今後も導入の際はLEDとする。
- ・さらに社内窓枠等を断熱遮光フィルムにし、外気の遮断対策をしていく。



## 4. 廃棄物排出量の削減

- ・分別することを継続し、各自ゴミは持ち帰るように徹底する。
- ・新入社員及び中途採用には、ゴミの仕分けを徹底して行うように教育指導する。



## 5. 水使用量の削減

- 1) 節水活動を継続して行い、使用量削減を行う。
- 2) 漏水調査等を随時行い、異常増加などを未然に防ぐようにする。



・5S活動メンバーを中心にし、快適に職場環境を常時、整えていく。

- ・小集団改善活動の継続
- ・避難消火訓練の継続(年1回)

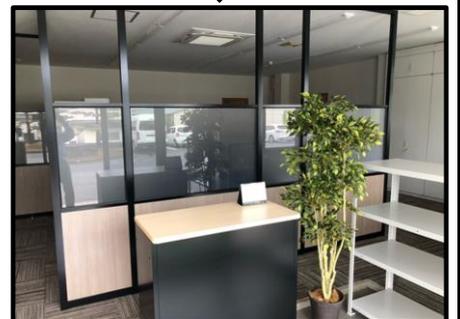
# 営業部



【2022年度導入した対策】

- ・社内リフォーム工事  
△技術棟 #営業部 食堂\* 洗面台※
- ・電気自動車の導入。(日産:サクラ)  
9台中6台低燃費車所有

△技術棟



## 6 ～環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無～

### (1)適用される環境関連法規制

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は、次の通りです。

関連法	要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、マニフェスト管理	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵管理と取扱、届出(灯油)	遵守
フロン排出抑制法	3ヶ月毎簡易点検	遵守
電気事業法	中部電気保安協会点検(定期点検2か月毎及び年1回)	遵守
RoHS法	顧客要求に応じて遵守	遵守

### (2)環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社ではEA21推進委員会が適切に監視しており、環境関連法規への違反はありません。また、現在および過去10年間、問題の無いことを確認致しました。同様に関係機関および近隣住民などからの苦情、指摘、訴訟などは有りませんでした。

内容	過去10年間の結果
法律違反の有無	無
訴訟等の有無	無

## 7 ～代表者による全体評価と見直しの記録・指示 結果～

・建物・付属設備等の改善を、過去5年間に渡り環境・働きやすさに配慮して実施してきた。結果として、冷暖房効率が改善され、電気使用量・ガス・灯油等の削減に繋げることができた。

・上下水道使用量の削減も、昨年4月本社工場のトイレを節水型に改修した事による。

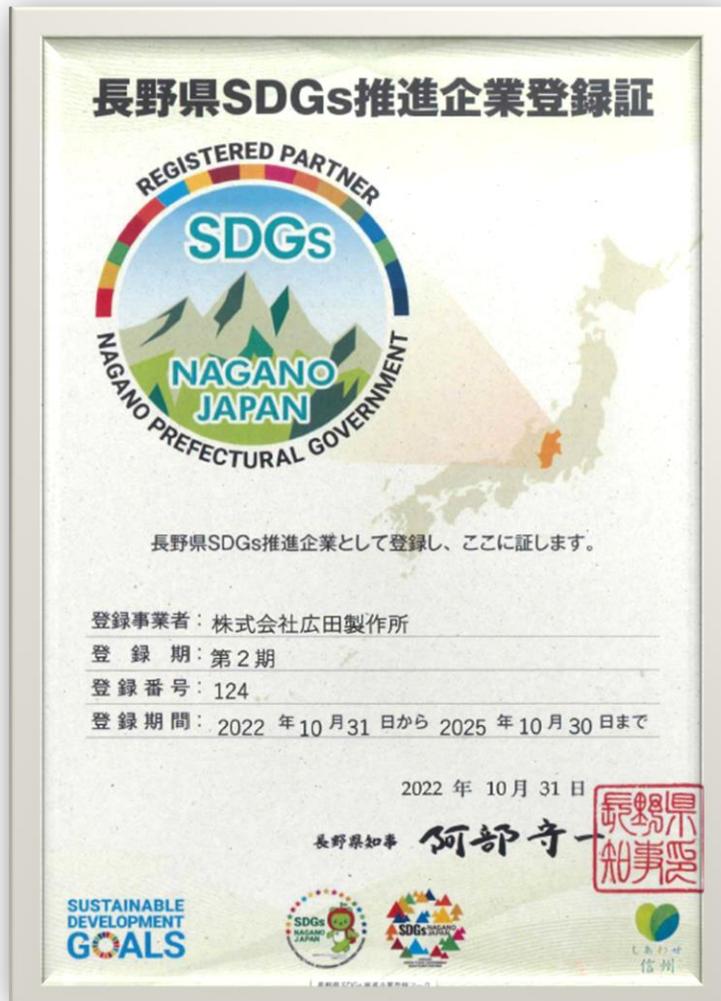
・社員はこれまでのエコアクションの活動を通じて、CO<sub>2</sub>削減の意識も高いこと、またSDGsの推進企業として、環境汚染の未然防止、省資源型の製品設計による環境への負荷低減への取組み意識も高いことから、引続き全社員で環境目標達成のための取組みを強化していく。

# 8 ~その他の取り組み・活動~

ISO9001



SDGs



## 2022年度 避難訓練実施状況

2022/11/14 13:15~

### ●避難訓練の様子

社内全体に一斉放送を入れた。実験棟出火想定)

各工場内から素早く避難し、工場の前に集合した後点呼をとった。



### ●消火訓練の様子

デモ用消火器による初期消火訓練において三益消防様に指導して頂き、社員が実技訓練を行なった。  
(主に新規入社社員)



●ポンプ操作方法手順等確認の様子  
防火班が三益消防様指導のもと、小型ポンプの起動および放水訓練を行った

